

# きらり

# 4

2020 APRIL



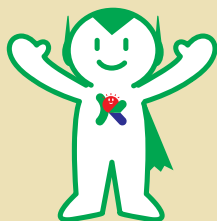
地域の農業を守る  
今が私たちの出番。  
**パセリ愛、満開!**

【めぐりスペシャル】  
農業・地域・JAをもっと知ってほしいから  
「**准組合員との交流会**」を開催しました。

【らいふスペシャル】

**JA香川県女性部は**  
SDGsに取り組んでいます。

JA香川県は  
自己改革に  
取り組んでいます!



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

# 農業・地域・JAをもっと知ってほしいから 「准組合員との交流会」 を開催しました。

JA香川県は、第6次中期経営計画の「組織・経営強化プラン」において、「准組合員を『農業振興のパートナー』と位置付け、産直等の利用促進や農業体験・営農関連施設見学等を通じて地域農業に対する理解促進をはかります。また、准組合員の意思反映や運営参画の仕組みについて検討します。」などとしています。そして、地域活性化アクションプログラムの一つ「准組合員との関係強化」をはかるため、准組合員交流会を2019年12月～2020年1月にかけて県下全域で開催しました。

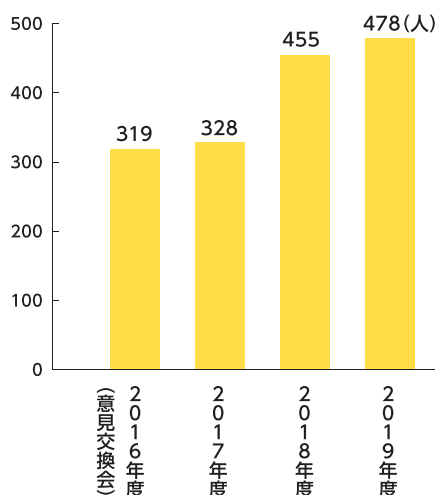
## 准組合員は、どんな人？ どうしたらなれるの？

JAの組合員は「正組合員」と「准組合員」に分けられます。正組合員は「農業に携わっている人」（一定の要件あり）。准組合員になれる方は当JA管内（香川県内）にお住まいまたはお勤めの方で、当JAの事業を利用される方です。出資をして、准組合員になると、配当金や「厚生連健康管理センターかがわ」が実施する健診の受診料の助成など、正組合員とほぼ同等のサービスを受けられます。また、当JAでは准組合員の方にも運営へ参画していただく取り組みを進めています。

## Q 「准組合員交流会」とは？ どんなことをするの？

**A** 2016年度に初開催した「意見交換会」を発展させ、2017年度から開催しています。支店・出張所を束ねる県内に18店ある「統括店」が年1回管内の准組合員を対象に参加を募り、JAの施設や直売所の見学、特産農産物の収穫体験など管内の特色を生かした内容を企画します。また、必ず1～2名の役員が同行し、意見交換会も行います。ここでいただいたご意見は理事会や経営管理委員会で報告し、組合運営に生かしています。

准組合員交流会の参加者数  
(18統括店の合計)



## Q 参加資格は？

**A** 当JAの「准組合員」ならどなたでもご参加いただけます。また、ほとんどの交流会がお子さんやお孫さんなど家族の方向性の参加も歓迎しています。原則として、准組合員になられている支店・出張所がある統括店の交流会への参加となります。

## Q 次回の開催はいつ頃ですか？

**A** 2020年度も、開催を予定しています。詳細が決定次第、各統括店単位で各支店・出張所の店頭や、職員が一日訪問において本誌「きらり」と一緒にお届けするチラシなどで募集します。詳しくはご利用の店舗窓口にお問い合わせください。





## イチゴ収穫体験 1/28

【小豆地区】土庄統括店

地元の特産であるイチゴの収穫体験。ご協力いただいた生産者から、イチゴ栽培についてのお話を聞きました。その後、公民館へ移動し意見交換会を行いました。



## ブロッコリー収穫体験 1/15

【仲多度地区】法敷寺統括店

㈱JA香川県フードサービスで卵のパック詰め工場を、協栄集荷場ではブロッコリーの集荷をそれぞれ見学。JA葬祭協同セレモニー会館丸亀で昼食と意見交換会の後、あぐりらんど飯山でブロッコリーの収穫を体験しました。



## 育苗センター見学 1/17

【豊南地区】大野原統括店

Aコープ豊南店や大野原集荷場見学の後、豊南カントリーエレベーターと同育苗センターを見学。㈱中大のほ場で農作業体験の後、大野原支店で昼食と意見交換会を行いました。



## 農機センター見学 12/2

【中央地区】高松南部十河統括店

中央第一農機センターと高松南部集荷場、同第2カントリーエレベーターを見学した後、ミカン園地で「小原紅早生」の収穫体験。昼食に女性部手作りの「しっぽくうどんとちらし寿司」を楽しみ、意見交換会を行いました。



## 郷土料理の昼食 12/7

【綾坂地区】林田統括店

㈱JA香川県フードサービスで卵のパック詰め工場を見学し、「讚さん広場」でお買い物。昼食は、林田支店で女性部手作りの地産地消料理を味わい、意見交換会の後、ミカン園地で収穫体験と、坂出みかん共撰場の見学を行いました。



## ミカン選果場見学 1/29

【三豊地区】常磐統括店

観音寺ふれあい産直市に集合してお買い物の後、観音寺集荷場と三豊みかん共同撰果場を見学。常磐支店で昼食と意見交換会を行い、イチゴ生産者のハウスで収穫体験を楽しみました。



【大川地区】志度統括店 1/30開催

木内理事長  
が参加!

# 志度統括店の「准組合員交流会」 を同行取材しました。



准組合員交流会には、必ず当JAの役員が1人以上参加することになっています。それぞれ自身の地元や担当統括店の交流会に参加することが多く、今回はさめき市在住の木内秀一代表理事理事長が、志度統括店開催の交流会に参加。31人の准組合員の皆さんと一日同行し、交流を深めました。



## 【集合・出発】

鴨部支店(8:45)から乗り込んだ参加者を乗せたバスが旧四国大川支店へ到着。同支店集合の参加者と木内理事長、職員を乗せて、いざ出発!



## 【昼食】

昼食は旧四国大川支店にある「いこいの場」にて、地元の四国大川地域女性部の皆さん心づくしのお弁当。地元の食材をたっぷり使ったヘルシーな料理に、参加者は思わず笑顔! 同女性部の十河久美子部長による料理の説明や女性部活動の紹介にも熱心に聞き入っていました。



絶品!

### \* MENU \*

- ・りんごとじゃがいもの豚肉巻
- ・季節の地物野菜の筑前煮
- ・サツマイモとベーコンのサラダ
- ・ずいきのごま酢あえ
- ・サツマイモと紅茶のプリン



## 【JA産直 空の街】

45分ほどで高松市香南町にある「JA産直 空の街」に到着。ここは、当JAの直売所としては2番目に大きな店舗。旬の野菜や果物や珍しい加工品などがズラリと並んだ店内で、思い思いに買い物を楽しみました。



## 【(株)JA香川県フードサービス】

当JAのグループ会社である(株)JA香川県フードサービスは、県内の養鶏農家から集めた卵を洗浄、検査してパック詰めし、安全安心な卵を県民の皆さんに供給しています。同社の田中博次長の説明とビデオで県産卵と同社の仕事について理解を深めた後、通常は非公開のGPセンター(工場)を特別に見学しました。最新の機械がズラリと並びオートメーション化された工程に、皆さんビックリしつつ熱心に質問していました。



農業・地域・JAをもっと知ってほしいから  
「准組合員との交流会」を開催しました。



【ミニトマトの収穫体験】

再びバスに乗り、さめき市ミニトマト部会の部会長、風呂隆文さんのハウスへ到着。大川地区営農センターの西田哲也次長から、同地区で生産される青果物の40%を占めるのがトマトだというお話や、同地区の農産物は高松をはじめ京浜地区や関西にもたくさん出荷されているなどのお話を聞きました。

その後、風呂部会長の指導を受けながら赤く色づいたミニトマトを探して、収穫体験を楽しみました。袋の口がしまらなくなるほど上手に詰め込む方が続出し(笑)、ハウスの中は笑顔があふれていました。



【解散】

帰りもバスで鴨部支店と旧四国大川支店の2か所へお送りして解散。直売所で買った農産物のほか、収穫したミニトマトやJAからのお土産を手に帰路へ着きました。皆さん、お疲れさまでした!



木内理事長から



今回の交流会は非常に有意義な時間でした。意見交換会ではさまざまなお意見をいただき、さっそく改善したり、運営に生かしたいこともありました。また、施設見学では農畜産物を供給する生産者の苦労や職員の役割を知っていただき、JAの事業・活動の一端をご理解いただけたのではと思います。准組合員交流会は、今後も息長く続けていきたい活動の一つです。

JAの運営においても、准組合員の参画を期待しています。JAの事業を利用して地元の農業を応援したり、女性部活動にも参加してみてください。



【意見交換会】

昼食後の意見交換会では、参加者と木内理事長、職員との間で活発な質疑応答や意見が交わされました。その一部をご紹介します。

● 地元(さめき市)の特産農産物は?

JA トマト、ブドウ(シャインマスカット)、ニンニク、ブロッコリー、青ネギなど

● 特産品をブランド化してほしい。ふるさと納税の返礼品にできないか?

● 利用する支店の窓口や、JA-SS(ガソリンスタンド)の職員の対応がいい。

● 「支店協同活動」でイベントなど色々やっているようだが、PRが足りないのでは?

● 毎月の「きらり」と一緒に届く志度統括店管内の行事予定などをもっとわかりやすくしてほしい。

JA 「JAが何をしているかわかりにくい」というご意見を真摯に受け止め、行事予定の告知についてはわかりやすいように工夫します。

● 女性部が地域の清掃活動などをしていると知り、ぜひ参加してみたい。

JA 大きなイベントとしては毎年5月30日頃「ゴミ0(ゼロ)530」清掃活動として県下全域の女性部が実施しております。ぜひ女性部活動にご参加ください。



# JA香川県女性部は

エス ディー ジーズ

# SDGsに 取り組んでいます。

最近、ニュースや新聞などで目にする機会が増えた「SDGs」。「『きらり』でも女性部の記事などに時々出てくるけど…そもそもどういう意味なの？(今さら人には聞きにくい!)」  
—— そんなあなたに、SDGsの基礎知識と、協同組合、そしてJA女性部との関わりをご説明します!

そもそもSDGsって?

サステイナブル・デベロップメント・ゴールズ  
Sustainable Development Goals

持続可能な開発目標の頭文字をとって名づけられました。  
2015年に国連が定めた、「2030年までに世界をもっとよくするための目標」のことです。



## その「目標」とは…

「世界を変えるための17の目標」として、世界中で共有され、取り組まれています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさも守ろう 	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	

SDGsは、「みんなでがんばって、より良い世界にしていこう!」という目標です。

でも、そう聞くととても立派で壮大で、普段の生活からは遠いところにある活動のように思う方もいるかもしれません。実は、私たちのJAをはじめとする「協同組合」の理念や活動と、とても近いところにあるものなのです。



# JAの女性部では、「5つの具体的活動」でSDGsに取り組んでいます。

## 1 食を守る



- 食料自給率の向上に向けた運動を展開します。
- 安全安心な食について学習し、情報を発信します。
- 地産地消の推進、伝統食の継承をすすめます。
- 食品ロス削減に取り組みます。

## 2 農業を支える



- 農業を取り巻く情勢について学習、情報を発信します。
- 農業の理解促進のために食農教育に取り組みます。
- 家族農業に対する理解を深めます。

## 3 地域を担う



- メンバーによる地域の居場所づくり、行事の維持などを通じて地域を支えます。
- 防災に対する意識を高め万一の備えを万全にします。
- 地域における協同組合間の連携、他団体との交流を通じて、活動の輪を広げます。

## 4 仲間をつくる



- 次代のリーダーを育成し、全組織でフレミズ組織を設置します。
- 幅広いメンバーの拡充をはかり世代間交流をすすめます。
- JA女性組織の活動を充実させ、情報発信します。

## 5 JA運営に参画する



- JA役職員との対話(積極的な交流、情報交換)を強化します。
- 支店運営委員会など各種委員会への参画をすすめます。
- JA運営への女性参画目標である「正組合員30%以上、総代15%以上、理事等15%以上」を目指します。
- JA女性組織メンバーの全員が正・准組合員となることを目指します。

※JA全国女性組織協議会による「2019～2021年度3カ年計画」より

## JA香川県女性部とSDGs

JAの女性組織が長年続けている「食と農」や地域に深く関わる活動には、SDGsそのものといえるものが数多くあります。当JA女性部でも、SDGsの目標に向かって部員一人一人が主役となって取り組んでいます。

各地域女性部は、「家の光」などを参考にSDGsを勉強しながら、さまざま企画を立てて実践しています。

以前から取り組んでいる毎年5月30日頃に県下全域で実施される「ゴミ0(ゼロ)530」清掃活動に代表される地域の清掃・美化活動や「小学校への手縫い雑巾の贈呈」活動、子どもたちへの食農教育活動も、立派な



新入生に雑巾を寄贈する大内地域女性部員



手作り豆腐教室で高松南部地域女性部長の説明を熱心に聞く親子たち



「ゴミ0(ゼロ)530」清掃活動に参加する飯南地域女性部員ら

SDGsの取り組みです。

支店・出張所の職員や地域の方々と一緒に取り組む「支店協同活動」にもSDGsの取り組みに当てはまるものがたくさんあり、地域の高齢者をサポートする活動も行っています。

JA香川県女性部の木村京子部長は、家庭の台所を預かることが多い部員たちへ向け、「食品ロスをなくしましょう」と呼び掛けています。これなら私たち一人ひとりのちよとした心がけで続けられますね。

また、若い世代の部員で構成されるフレッシュユース部会では、子どもたちに楽しくわかりやすく学んでもらおうと「SDGsかるた」を作成しました(本誌20ページ「ぷちきらり」で紹介しています)。

このように、できることから無理なく楽しく取り組むのが、女性部のSDGsです。ぜひ、気軽に女性部活動に参加してみませんか？!

## 「第62回全国家の光大会」で 西森浩美さんが記事活用体験発表



家の光記事活用の体験発表する西森さん

一般社団法人家の光協会と全国農業協同組合中央会は2月18日、福岡市内の福岡サンパレスホールで「第62回全国家の光大会」を開きました。大会では、令和元年度J A普及実績表彰が行われ、当J Aは「家の光図書」記念品活用実績表彰を受賞しました。

前日17日に行われた都道府県代表体験発表において、当J Aの『家の光』三誌愛読者から大内丹生支店の西森浩美さんが「家の光記事活用体験」を、法興寺支店総合課の佐野剛課長が「普及・文化活動体験」を発表しました。

同大会の参加者らは、「組合員や地域の人たちから真に、地域になくてはならないJ A」として評価されるために、J Aの教育文化活動を生かし、人・組織・地域の幸せづくりをすすめるためなど、「家の光」三誌の活用が一層重要になっていきている」との認識を共有しました。

### つくって味わう香川の恵み 家庭菜園12か月 4月

今月は

# スイートコーン

露地栽培（じかまき）



## 1 種まき

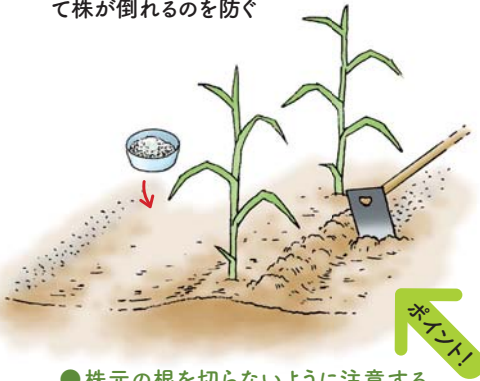
じかまきの場合、4月下旬～5月中旬に、1か所3、4粒ずつ種をまき、2～3cm厚さに土をかける

## 2 間引き

草丈15cmころ、丈夫な株を1株残して間引く

## 3 追肥・土寄せ

草丈50～60cmになったら、化成肥料を1㎡当たり60～70g施す。その後中耕し、土寄せをして株が倒れるのを防ぐ



● 株元の根を切らないように注意する

## 4 わき芽かき

わき芽の花粉も利用すると先端の実入りがよいので、基本的にはわき芽は放置する。ヤングコーンとして収穫してもよい

## 5 水やり

本葉3枚ころまでは乾きすぎ、湿りすぎに注意する。また、雌穂が出る1か月前から収穫期にかけて、乾きすぎにならないように定期的に水やりをする

## 6 収穫

雌穂の絹糸が出てから20日前後、絹糸が茶色になったころが収穫期。気温が上昇する前の早期に収穫する。スイートコーンは室温では収穫後5～6時間で糖分が減少するので、できるだけ早く賞味する

